

遮音施設に関する
調査表記入マニュアル

[E240] 遮音施設基本

この調査表は、遮音施設に関する基本的データを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

(1) データは次の単位で作成する。

- 都道府県市区町村毎とする。 注)
- 路線毎とする。
- 遮音施設設置箇所内における施設種類毎とする。

注) ・データ作成単位が管轄（事務所や出張所）や都道府県市区町村に跨る場合には、管轄毎、市区町村毎に分割してデータを作成すること。
・市区町村の境界が不明確な場合や市区町村境と管轄境界が一致しない場合には、担当部署や関連する事務所及び出張所間で協議してデータを作成すること。

(2) 遮音施設の型式については「E241遮音施設型式」にて作成する。

(3) 遮音施設に関する写真・図面類については「E242遮音施設図面類」にて作成する。

(4) 遮音施設に関する補修履歴等については「E243遮音施設補修歴」にて作成する。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2
- (J) 整理番号3
- (N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」, §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 名称

該当する遮音施設の名称を、10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字)で記入する。名称がない場合は、設置箇所の地先名等を記入する。

(Q) 百米標自(km)

該当する区間の距離標(百米標)を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」, §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(R) 距離自(m)

該当する区間の距離標(百米標)からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」, §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(S) 百米標至(km)

該当する区間の距離標(百米標)を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」, §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(T) 距離至(m)

該当する区間の距離標(百米標)からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」, §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(W) 施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。(年は和暦を記入)

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」, §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(記入例) 昭和61年 ——> $\begin{array}{c} 361 \\ \uparrow \\ \text{年号コード(3:昭和)} \end{array}$

(X) 施設改修年度

施設を改修した年度を記入する。(年は和暦を記入)

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」, §1. 共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は「*」を記入する。

(記入例) 平成5年 ——> $\begin{array}{c} 405 \\ \uparrow \\ \text{年号コード(4:平成)} \end{array}$

(Y) 完成年月

該当する遮音施設が完成した年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1983年 8月 ——> 198308

(Z) 上り下り区分C : ◆

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上り線	1
下り線	2

(AB) 所在地自

該当する区間の始点側の所在地(字番地まで)について、30文字以内の日本語で記入する。

(AC) 所在地至

該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)について、30文字以内の日本語で記入する。

(AD) 施設種類C : ◆

施設種類について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
遮音壁	1
遮音築堤	2
吸音壁	3
透光式	4
遮音壁+吸音壁等	5
その他	9

(AF) 設置箇所C : ◆

設置箇所について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
路肩(路側)	11	橋梁(高架橋を含む)	15
歩道	12	擁壁上	20
中央帯(中央分離帯)	13	その他	99
環境施設帯内	14		

注) コード16~19は欠番とする。

(AH) 延長(m) : ◆

該当する区間の遮音施設の延長（のべ延長）を、小数点以下1位まで記入する。

(AI) 設置道路延長 (m) : ◆

遮音施設が設置されている道路延長を、小数点以下1位まで記入する。

(AJ) 最大高 (m)

(AK) 最小高 (m)

上記 (AJ)、(AK) については、該当する区間の遮音施設の高さの最大値と最小値を、小数点以下1位まで記入する。なお、高さは路面からとし、高さが一定の場合は、最大と最小の記入欄に同値を記入する。

(AL) 基礎形式C

遮音施設の基礎形式について代表的なものを選定し、該当するコードを記入する。

区 分	コード
直接基礎 (コンクリート基礎)	1
杭 基 礎	2
ベースプレート式	3
土中埋込み式	4
添 架 式	5
そ の 他	9

(AN) 騒音規制区域C

騒音規制区域か否かについて、該当するコードを記入する。

区 分	コード
騒音規制区域外	1
騒音規制区域内	2

(AP) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(AQ) 市区町村自C : ◆

該当する区間の始点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード：08401
(検査数字は含まない)

(AS) 市区町村至C

該当する区間の終点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡大洋村の場合 ——> コード：08403
(検査数字は含まない)

〔E 2 4 1〕 遮音施設型式

この調査表は、遮音施設の型式に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「E240遮音施設基本」の作成単位毎とする。
- 型式毎とする。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(G-1) 現旧区分

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、
(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1.
共通注意事項」を参照のこと。

(P) 規格材質等型式

遮音施設の規格、材質等について、25文字以内の日本語で記入する。

〔E 2 4 3〕 遮音施設補修歴

この調査表は、遮音施設の補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「E240遮音施設基本」の作成単位毎とする。
- 補修が行われた毎とする。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (G-1) 現旧区分
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 補修年月

補修を行った年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1985年10月 ——> 198510

(Q) 補修内容C

補修内容について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
基礎の修復、補強	1 1
支柱の修復、補強	1 2
の取替え	1 3
パネルの修復、補強	1 4
の取替え	1 5
築堤の修復、補強	1 6
塗装の塗替え	1 7
その他	9 9

(S) 備考

損傷原因等について50文字以内の日本語で記入する。

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E240：遮音施設（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
名称	全角10文字			○
百米標自	999.9	k m	○	○
距離自	9999	m	○	○
百米標至	999.9	k m	○	○
距離至	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦		○
完成年月	199901	西暦		○
上り下り区分C	半角1文字		○	○
所在地自	全角30文字			○
所在地至	全角30文字			○
施設種類C	半角1文字		○	○
設置箇所C	半角2文字		○	○
延長	99999.9	m	○	○
設置道路延長	99999.9	m	○	○
最大高	99.9	m		○
最小高	99.9	m		○
基礎形式C	半角1文字			○
騒音規制区域C	半角1文字			○
備考	全角50文字			○
市区町村自C	半角5文字		○	○
市区町村至C	半角5文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E241：遮音施設（型式）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
規格材質等型式	全角25文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E243：遮音施設（補修歴）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
補修年月	199901	西暦		○
補修内容C	半角2文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照